

校長先生のお話を聞いて

令和2年度 No. 5

11月4日の朝会での校長先生のお話

「いじめのない学校にしよう」

毎日、学校楽しいなあと思っている人が多いと思いますが、楽しくないなあと思うことがある人もいるかもしれません。

なぜ、学校が楽しいと感じるのか、理由はいろいろあると思いますが、友達と楽しく過ごすことができる、という理由が一番ではないかと思います。反対に、楽しくないという人の理由は、友達と仲良く過ごすことができていない、ということが一番ではないでしょうか。勉強で難しいことがあったり、テストであまりいい点がとれなかったとしても、友達と仲良く楽しく過ごすことができれば、学校は楽しい場であると思います。

だれもが、すべての人が、学校が楽しい場であって欲しいと思います。そのためには、友達に、楽しくない思いをさせてはいけません。楽しくない思いをさせるということは、その人の心を傷つけてしまうことです。人を傷つけるような言葉を使ったり、態度を見せたりすることは、いじめです。いじめはぜったいにやっではないけなことです。

どんな言葉が、いじめの言葉になってしまうのでしょうか。

「うざい」「キモい」「きたない」「くさい」「こっち来んな、あっち行け」「バカ、アホ、死ね」「のろい、のろま」「そんななんもできねん」

また、どんな態度がいじめとなってしまうのでしょうか。「その子の持ち物に落書きしたり、かくしたりする」「失敗したり、他の子と違っていることをして笑ったりする」「無視する」「その人がきたら急におしゃべりをやめる」「逃げる」「ひそひそ話をする」「○○ちゃんと話すのをやめようという」

ほかにもありそうです。この子は私より勉強ができない、私より運動が苦手だ、他の子と同じように行動できない、この

前いやなことを言われた、あの子の目つきがいやだ。

どんな理由があっても、いじめはいけません。

どんな理由があっても、人を傷つける言葉を使ったり態度をとったりしてはいけません。

もしかすると、自分では気づかないうちに、そんな言葉を使ったり態度を出しているかもしれません。でも、相手がいじめられていると感じたら、いじめていることになってしまいます。

自分がいじめに加わっていることに気づいたとき、また、いじめを受けている人を見たとき、どんな言葉、ふわふわ言葉をかけ、接していったら良いでしょうか。



いじめられたら、いじめ返すのがよいのでしょうか。そんなことをしたら、学校からいじめはなくなりませんね。

人は皆、一人一人顔が違うように、考えも、足の速さも、行動の仕方も違います。みんなと同じようにできなくても、みんなと考えが違って、差別したり、いじめたりということがあってはなりません。一人一人の違いを認め合って、いじめがなく楽しい学校にしていきましょう。

6年1組 加藤 琴奈 さん

今日の校長先生のお話は、「いじめをしない」というお話でした。「笑顔であいさつし、ふわふわ言葉を使いましょう。物をかくしたりしないようにしましょう。」とおっしゃっていました。

校長先生のお話を聞いて、いつもスクールガードの方々、笑顔であいさつをしてくれて、私も朝から笑顔で登校できます。私はふわふわ言葉を使うように意識しようと思いました。

私は、悪口を言われている子の立場になって、よく考えて、すぐに謝ろうと思いました。人に優しく接するようにしたいです。

6年2組 内田 由姫菜 さん

今日の校長先生のお話は、いじめになっている言葉のお話でした。

元気な声であいさつをし、気持ちよくさせ

る南風、あいさつをしても無視をされ、いやな言葉を言われる北風です。クラスでは南風をふかせる取組をしているので、北風ふかせるというのはあってはならないことだなと思いました。

私はこれから、いじめになるような言葉に気をつけて、気持ちの良いあいさつをすることをこれからもしっかり心がけたいなと思いました。

5年1組 平野 惺和 さん

今日の校長先生のお話は、いじめのお話でした。

いじめは、ぜんぜんいいことではないと思いました。いじめをすると友達がどんどんへるのではないかと思いました。

これからは、いじめをしないで、いじめをしている人を見たら、ぼう力ではなく、言葉でとめるようにしたいです。

5年2組 眞尾 日穂 さん

今日の校長先生のお話は、いじめについてのお話でした。学校が楽しいと思う人と思わない人がいると言っていました。いじめのことも言っていました。

私は、いじめはよくないと思いました。いじめられている子はかわいそうだなと思いました。この学校でいじめがあったら、いじめをなくしていきたいと思いました。

私は、これからいじめられている子がいたら助けてあげたいと思いました。もしも自分が、いじめられたら、いじている子のいいところを見つけて、だんだんといじめがなくなっていけばいいと思いました。

4年1組 中島 颯斗 さん

今日の校長先生のお話は、いじめについてのお話でした。

いじめはぜっ対だめ。人を傷つける言葉や、人を傷つける態度が、人にとって一番いやなことです。言葉、態度を人が傷つかないように気をつければ、人が傷つくことはないと思います。傷つける言葉でなく、ふわふわ言葉をかけた方がいいです。

ぼくは、いじめは人を傷つけてしまい、ふわふわ言葉はうれしくなるから、傷つけないように、ふわふわ言葉を人にいっぱい言えるようにしたいです。

3年1組 へん見 あや世 さん

今日の校長先生のお話は、友だちにやさしくしようということでした。ぼくは、人にやさ

しくしようという気持ちは、たいせつだと思います。人を悲しくさせるのではなく、人を楽しくさせるのがいいとぼくは思います。

人にはしんせつにするということは、あたりまえなこうどうとしておこないたいです。人はたいせつにするということができるようになり、より楽しい学校にしたいです。

2年1組 斎藤 ここな さん

今日の校長先生のお話は、いじめについてのお話でした。いじめは人の心をきずつけます。だから、高しの小はいじめのない学校にしたいです。そのためには、一人一人が友だちのことを考えたらいいと思います。これからわたしは、一人一人のことを考えて、たのしい学校になるようにしたいです。

2年2組 いとう はる さん

今日の校長先生のお話は、いじめをしないというお話でした。

いじめはだめなので、ぼくは、いじめをしている人がいたら、ちゅういします。だれかによびすてにされた時は、やりかえさないで、やさしく「やめて」と言います。

ぼくは、いじめはしたくないので気をつけたいです。

1年1組 おおしま たいせい さん

きょうのこうちょう先生のおはなしは、ともだちに、いじめのことばをいってはいけないというおはなしでした。

たかしのしょうがっこうをたのしくすごすには、そとあそびをしたり、おべんきょうをちゃんとしたり、おともだちにいじわるをしないですごそうとおもいました。

ぼくは、いじわるをしないようにきをつけます。

1年2組 よしだ えま さん

きょうのこうちょう先生のおはなしは、いじめのないがっこうにしようというおはなしでした。

わるくちをいわない。いやなきもちになることはいわない。このふたつのやくそくを、まもろうとおもいました。

わたしは、やさしいがっこうにしたいです。

今日は校長先生に「いじめのない学校にしよう」というお話をしていただきました。次回の校長先生のお話は12月4日(水)の全校朝会です。